



入 学 式



南高だより

題字 教諭 平田康裕

第147号

R1.9.30 発行
山形県立山形南高等学校
P T A 総 務 部
山形市東原町4-6-16
☎622-3502
印刷：榎大風印刷
写真：フォトオクヤマ

誓いの言葉

満開の桜が待ち遠しく感じられる、暖かな陽気に包まれた今日、私たちは山形南高等学校に入学を許可されました。私たちは今、不安や緊張を抱きながらも、入学したことへの喜びや新しい生活への期待、そして支えてくださった方々への感謝の気持ちでいっぱいです。

先日、平成に代わる新しい元号「令和」が発表され、高校生活をスタートさせる私達にとって、新たな気持ちで、充実した高校生活を送りたいという思いが強くなりました。

今、私には二つの目標があります。一つ目は南高の校是である「文武両道」です。私はこれを高いレベルで実現させたいと思います。文武両道と一言でいっても簡単に成し遂げられるものではないと思います。ここにいる仲間二四〇名と励まし合い競い合いながら全力で取り組んでいきます。

二つ目は人間としての成長です。この三年間で精神的に自律した大人へと近づけるよう自ら考え判断し、行動できるように、様々な事にチャレンジしたいと思います。

先生方、先輩方、未熟な私達をあたたくく見守って支えていただきますよう、今日からよろしく願います。

私たち一人ひとりがそれぞれの目標を胸に南高生の一員として、どんな困難にも負けない強い心をもって三年間生活していくことを誓います。

平成三十一年四月八日

山形県立山形南高等学校
新入生代表 島貫 陽仁

次の「ACE」へ

生徒会長 菅原 陽



私は第七十代目の生徒会長として、一年間先頭に立って生徒会を引っ張らせていただきました。「生徒会長」という肩書きは重く、歴代の生徒会長を思い出すと、自分には荷が重すぎるのではないかと思います。しかし、自分も負けていけないと思います。「ACE」という生徒会スローガンを立て、先輩方の姿を追いかけてきました。とにかくいろんなことに挑戦し、失敗したら次につなげていくという精進で、様々な活動を行いました。そういう意味では、一番失敗を重ねた学年であったかもしれません。

そして、最後の集大成としてついに迎えた南高祭。ここでもやはりたくさんさんのことに挑戦しました。成功したことや失敗したことなど多くの反省が出ましたが、全部まとめて大成功だったと思います。大事なところはここから次の代にどれだけこの反省を引き継ぐことができるかだと思います。おそらく南高はこの先輩から後輩へと引き継ぐ過程をしつかり行っているから、南高の伝統というものが樹立されるのだと思います。

私も矢萩先輩から受け取ったバトンを次の代に渡すことになりましたが、先輩がしてくれたように、自分の学んだことすべてを渡したいと思います。生徒会の「ACE」ではなくなりますが、また別のところの「ACE」として、この経験を生かしていきます。

「ACE」学年は自分にとって最高の財産です。



南東定期戦



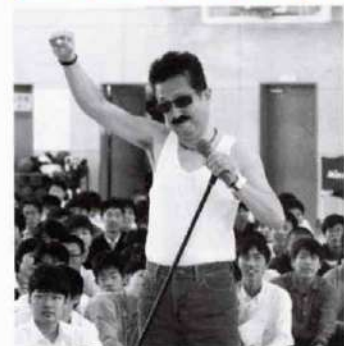
スポーツテスト



県総体激励会



県総体激励会



(伊藤 成克)

私に残る最も古い記憶は、母の背中におんぶされながら交わした会話です。「どうして月はずつついてくるの？」という問いに「地球と月の距離は三十八万kmもあって、少し歩いただけでは見える方角や大きさには影響しないの」などと、尋常小学校しか出ていない母が答えるわけではなく、「月は二人を見守りたいと思って追いかけて来るのかな。」と話してくれたのです。今思い返してみると、おんぶされているとき私の顔は母の顔のすぐ近くにあつて、まさに乾いた大地が水を吸い込むように、一言一言が脳裏に刻まれたような気がします。

そして、いつもより高いところから見る景色は知的好奇心をかき立ててくれたように思います。電化製品があまり普及していなかった当時、おんぶされながら炊飯や洗濯など母のする仕事の苦勞に、幼いながら共感を覚えていました。向かい合うと相手を説得しがちになり、同じ方向を向いて語り合うと共感が生まれやすくなります。しかし、高校生をおんぶすることはもう不可能で、子どもと同じ眼差しで見ることもくらくらしかできなくなりました。ですから、できれば背丈が伸びた子どもより高い視点から世の中を見ていたいものです。

伝統とは、古きを紡ぐことではない。常に時代に合った新しい技術、環境などを取り入れて次の時代へ繋いでいくものである。南高生も多くの先輩方から受け継いだ伝統をまた後輩へ託すべくこの時代を生きている。青春真っ只中の今を自分の生き方に誇りをもち精一杯生きているだろう。

が、もつと人間性豊かに常に進化し、未来へとこの南高魂を紡いでもらいたい。そう強く願うものである。南高祭を大成功に導き、素晴らしい新たな南高を創り上げた諸君、自分の理想を追い求め、明確な目標を掲げ、人間らしくそして強くたくましくこれからの時代を生き抜く心を身に付けて欲しい。人は人で磨かれるというが、南高は自分を磨く、心を磨く研鑽の場でもあると理解している。日本人として誇り高き南高生となり、時代をリードしていくことを心より期待している。



おんぶと共感

校長 大沼 敏美



南高生として誇りを胸に

PTA会長 松岡 茂和

PTA専門部

◆総務部

今年度から「南高だより」は、年二回の発行となります。南高生の活動の様子、学校とPTAの取り組みを皆様にお伝えしていきます。

(木之内亜矢子)

◆文教科

生徒たちの自立と未来を拓く力を育むことができるよう、皆様と先生方と力を合わせて研修活動の活発化と積極的な参加を呼びかけ、応援していきます。

(鈴木 孝)

◆生徒指導部

喜怒哀楽若さの特権！熱き南高生の感性と健全な心身の育成のために生徒指導部一丸となり、微力ながら応援していきます。

(五百澤 昇)

◆保健体育部

南高生が健全な心身を持ち日々を過ごせるよう、体育祭やマラソン大会、学校保健委員会等への参加を通じて、大進撃を応援していきます。

(伊藤 成克)

全国高P連京都大会報告

PTA会長

松岡 茂和

「kyoから！未来を拓く」を受け継ぎ、創る新たなストーリーをスローガンに、八月二十二、二十三日に京都において全国高P連大会が行われました。

全体会は、日本電産永守会長が講演し、子どもたちは理想を持ち、そして目標を持つことの大切さ、自分の人生を信じ生きるということを印象的でした。分科会では子どもたちの本音を聞くことが出来ました。時代、環境が変わっていること、保護者が過保護になりすぎないこと、しっかりと向き合い最後まで話を聞くという当たり前のことを学ぶ充実した時間でした。



東北高P連山形大会報告

PTA副会長

鹿野 直人

七月四日、五日に「一人ひとりが個性を奏であう未来へ」自立・協働・創造をめざして」をテーマに開催されました。研究発表では、各県の高校から地域の方々と連携しての就職模擬面談や文化祭等の積極的参加、子供たちの作った食事でのレストランなど多くの人々との関わりの重要性を学びました。全体講演では、薩山ラボ代表薩山英男氏から「常識を破って子どもを伸ばそう」のテーマで基礎基本で応用力は伸びるなどの貴重なお話を頂きました。最後に情報交換会では、南高が幹事校となり、多数の保護者にご協力いただきました。本当にありがとうございました。



第一志望を達成するために

進路指導主事 中里 秀樹

南高祭を始めとする一連の行事もひと段落し、三年生はいよいよ受験に向けて本格的に取り組んでいます。二年生・一年生も、進路達成に向けて一層学習に力を入れる時期になるでしょう。ご存知の通り、現在は大学入試の変革期であ

り、来年一月に最後のセンター試験が実施された後は、記述式を含む「大学入学共通テスト」に移行します。英語の外部検定試験導入や、ポータルフォリオの導入など、生徒本人のみならず、保護者の中にも不安に思っている方が多

いと思われますが、求められるのは「基礎基本を確実に捉えることのできる力」であることに変わりはありません。学校側から伝えられる様々な入試情報に耳を傾けながら、授業内容をしっかりと吸収し、日々の課題で力を補強し、模試等で弱点を把握して次につなげるという努力をコツコツと積み上げて欲しいと願っています。

平成31年度（2019年度入学生選抜／2018年度）
入試国公立大学合格者数

【国立大学】

大 学	計
北 見 工 大	1
弘 前 大	4
東 北 大	6
秋 田 大	4
山 形 大	79
福 島 大	4
筑 波 大	2
茨 城 大	1
宇 都 宮 大	4
埼 玉 大	4
千 葉 大	4
東 京 学 芸 大	1
東 京 芸 術 大	1
東 京 農 工 大	1
新 潟 大	17
富 山 大	2

現役の内数

大 学	計
金 沢 大	1
信 州 大	1
琉 球 大	1

【公立大学】

大 学	計
釧 路 公 立 大	1
岩 手 県 立 大	1
宮 城 大	1
秋 田 県 立 大	4
山形県立保健医療大	6
高 崎 経 済 大	1
横 浜 市 立 大	1
新 潟 県 立 大	3
北 九 州 市 立 大	1

国 公 立 大 学 合 計 157



インターハイ報告

柔道部

たくさんの方々に支えられて

笹原 隼樹

鹿児島1日では、志田、笹原ともに好成績を残せませんでした。全国の舞台に立てたことは、かけがえない思い出と今後につながる経験となりました。田島先生、飯野先生をはじめ指導頂いた方々、家族の支えのおかげです。また厳しい稽古を共に乗り越えた仲間は人生の宝ものです。応援いただき本当にありがとうございました。



レスリング部

インターハイを通して

後藤 晴紀

私はインターハイ出場が決まってから、足腰の強化や、大技の練習を中心に努力してきました。

大会は山形よりも暑い熊本で行われ、いつもとは違う環境での試合でした。結果は初戦敗退でしたが、自分が練習した技を出し切ったため、悔いは無く、良い経験でした。

今後も様々な事へ努力を継続していきます。



陸上競技部

インターハイに出場して

志貴 勇斗

私は、沖縄インターハイで千五百メートルに出場しました。結果は予選敗退と、目標であった入賞には遠く及びませんでした。この大会を通して、自分の意識の甘さを痛感しました。全員が優勝を目指している中で、他の選手に勝つための練習と意識を持つことが大切だと思いました。この悔しさを次のステップに活かせるよう頑張ります。応援ありがとうございます。



ボクシング部

インターハイを通して

小屋 廉

高校に入ってから本格的にボクシングを始めた自分たちが、インターハイという大舞台で互角に戦えるまで成長できたことにうれしく思う。目標には届かなかったが、インターハイ独特の雰囲気から感じるものができた。ボクシングで得たものを、今後は受験という全国との戦いに勝てるように生かしていきたい。



硬式テニス部

南高「硬式テニス部」の初舞台

菊地 康晃

インターハイに出場する。これは高校入学時に自分が決意したことと硬式テニス部の目標としてきたことだ。去年、自分たちはチャンスをものにすることができず、決勝すら出場することができなかった。だが今年、念願の全国の舞台に出場することができた。結果としては悔しいが自分たちができる精一杯のプレーができた。来年の目標は「部」としての出場も目指して鋭意努力していく。



自転車競技

インターハイを終えて

佐藤 岳

私は、自転車競技の個人ロードレースに出場しました。コースは、スタート直後から登りと下りコーナーが続く、総合力が要求される全長九四・三km。自分にとっては得意なコース設定でしたが、一四〇人が出走し、三千七人のみがゴールする厳しいレースとなりました。自分自身も先頭とのタイム差により途中棄権し、結果を残すことが出来ませんでした。自分にとってこの二年半は苦しいことばかりでしたが、多くの方々の協力のおかげで競技を続けることができました。特に、齋藤文先生には大変お世話になりました。応援ありがとうございました。

部活動の主な実績

日頃より本校部活動に対しご支援・ご協力をいただき感謝とお礼を申し上げます。

▼インターハイ(南部九州総体二〇一九)

・柔道部

2回戦 73kg級 笹原 隼樹

1回戦 66kg級 志田 聖雲

・レスリング部

1回戦 125kg級 後藤 晴紀

・陸上競技部

出場 1500m 志貴 勇斗

出場 走高跳 森 祥久

・ボクシング部

ベスト16 ライト級 小屋 廉

1回戦 ミドル級 阿部 光晟

・硬式テニス部

出場 ダブルス 石井 百迅

・自転車競技

出場 ロード・レース 佐藤 岳

・東北高校総体【団体】

・バレーボール部

・剣道部

・ラグビーフットボール部

・水泳部

・卓球部

・東北高校総体【個人】

・柔道部

ベスト8 66kg級 志田 聖雲

2回戦 73kg級 笹原 隼樹

1回戦 60kg級 須藤 雅斗

1回戦 81kg級 安達 圭伸

・バドミントン部

1回戦 シングルス 島貫 陽仁

・レスリング部

第3位 125kg級 後藤 晴紀

・陸上競技部

第4位 1500m 志貴 勇斗

・柔道部

第4位 66kg級 志田 聖雲

・レスリング部

第4位 125kg級 後藤 晴紀

・陸上競技部

第4位 1500m 志貴 勇斗

部活動の主な実績

日頃より本校部活動に対しご支援・ご協力をいただき感謝とお礼を申し上げます。

▼インターハイ(南部九州総体二〇一九)

・柔道部

2回戦 73kg級 志田 聖雲

1回戦 66kg級 須藤 雅斗

・レスリング部

1回戦 125kg級 後藤 晴紀

・陸上競技部

出場 1500m 志貴 勇斗

出場 走高跳 森 祥久

・ボクシング部

ベスト16 ライト級 小屋 廉

1回戦 ミドル級 阿部 光晟

・硬式テニス部

出場 ダブルス 石井 百迅

・自転車競技

出場 ロード・レース 佐藤 岳

・東北高校総体【団体】

・バレーボール部

・剣道部

・ラグビーフットボール部

・水泳部

・卓球部

・東北高校総体【個人】

・柔道部

ベスト8 66kg級 志田 聖雲

2回戦 73kg級 笹原 隼樹

1回戦 60kg級 須藤 雅斗

1回戦 81kg級 安達 圭伸

・バドミントン部

1回戦 シングルス 島貫 陽仁

・レスリング部

第3位 125kg級 後藤 晴紀

・陸上競技部

第4位 1500m 志貴 勇斗

・柔道部

第4位 66kg級 志田 聖雲

・レスリング部

第4位 125kg級 後藤 晴紀

・陸上競技部

第4位 1500m 志貴 勇斗

部活動の主な実績

日頃より本校部活動に対しご支援・ご協力をいただき感謝とお礼を申し上げます。

▼インターハイ(南部九州総体二〇一九)

・柔道部

2回戦 73kg級 志田 聖雲

1回戦 66kg級 須藤 雅斗

・レスリング部

1回戦 125kg級 後藤 晴紀

・陸上競技部

出場 1500m 志貴 勇斗

出場 走高跳 森 祥久

・ボクシング部

ベスト16 ライト級 小屋 廉

1回戦 ミドル級 阿部 光晟

・硬式テニス部

出場 ダブルス 石井 百迅

・自転車競技

出場 ロード・レース 佐藤 岳

・東北高校総体【団体】

・バレーボール部

・剣道部

・ラグビーフットボール部

・水泳部

・卓球部

・東北高校総体【個人】

・柔道部

ベスト8 66kg級 志田 聖雲

2回戦 73kg級 笹原 隼樹

1回戦 60kg級 須藤 雅斗

1回戦 81kg級 安達 圭伸

・バドミントン部

1回戦 シングルス 島貫 陽仁

・レスリング部

第3位 125kg級 後藤 晴紀

・陸上競技部

第4位 1500m 志貴 勇斗

・柔道部

第4位 66kg級 志田 聖雲

・レスリング部

第4位 125kg級 後藤 晴紀

・陸上競技部

第4位 1500m 志貴 勇斗

部活動の主な実績

日頃より本校部活動に対しご支援・ご協力をいただき感謝とお礼を申し上げます。

▼インターハイ(南部九州総体二〇一九)

・柔道部

2回戦 73kg級 志田 聖雲

1回戦 66kg級 須藤 雅斗

・レスリング部

1回戦 125kg級 後藤 晴紀

・陸上競技部

出場 1500m 志貴 勇斗

出場 走高跳 森 祥久

・ボクシング部

ベスト16 ライト級 小屋 廉

1回戦 ミドル級 阿部 光晟

・硬式テニス部

出場 ダブルス 石井 百迅

・自転車競技

出場 ロード・レース 佐藤 岳

・東北高校総体【団体】

・バレーボール部

・剣道部

・ラグビーフットボール部

・水泳部

・卓球部

・東北高校総体【個人】

・柔道部

ベスト8 66kg級 志田 聖雲

2回戦 73kg級 笹原 隼樹

1回戦 60kg級 須藤 雅斗

1回戦 81kg級 安達 圭伸

・バドミントン部

1回戦 シングルス 島貫 陽仁

・レスリング部

第3位 125kg級 後藤 晴紀

・陸上競技部

第4位 1500m 志貴 勇斗

・柔道部

第4位 66kg級 志田 聖雲

・レスリング部

第4位 125kg級 後藤 晴紀

・陸上競技部

第4位 1500m 志貴 勇斗

部活動の主な実績

日頃より本校部活動に対しご支援・ご協力をいただき感謝とお礼を申し上げます。

▼インターハイ(南部九州総体二〇一九)

・柔道部

2回戦 73kg級 志田 聖雲

1回戦 66kg級 須藤 雅斗

・レスリング部

1回戦 125kg級 後藤 晴紀

・陸上競技部

出場 1500m 志貴 勇斗

出場 走高跳 森 祥久

・ボクシング部

ベスト16 ライト級 小屋 廉

1回戦 ミドル級 阿部 光晟

・硬式テニス部

出場 ダブルス 石井 百迅

・自転車競技

出場 ロード・レース 佐藤 岳

・東北高校総体【団体】

・バレーボール部

・剣道部

・ラグビーフットボール部

・水泳部

・卓球部

・東北高校総体【個人】

・柔道部

ベスト8 66kg級 志田 聖雲

2回戦 73kg級 笹原 隼樹

1回戦 60kg級 須藤 雅斗

1回戦 81kg級 安達 圭伸

・バドミントン部

1回戦 シングルス 島貫 陽仁

・レスリング部

第3位 125kg級 後藤 晴紀

・陸上競技部

第4位 1500m 志貴 勇斗

・柔道部

第4位 66kg級 志田 聖雲

・レスリング部

第4位 125kg級 後藤 晴紀

・陸上競技部

第4位 1500m 志貴 勇斗

なんばーわん

南高祭実行委員長

折田 隼人



私は今回の南高祭を通じて準備の大切さを知りました。当初は雨の心配もあり、昨年の反省も活かして様々な準備をしてきました。そして今年は何と言っても模擬店の配置を例年と変えたことです。そのため人の動きなどが予測できず、先生方や先輩方からのアドバイスなどを参考にして実行委員を始め南高生全員が協力して準備を行ってきました。徹底した準備をしたおかげで本番は例年に比べて人の流れもスムーズになり各模擬店も大いに盛り上がり、中庭企画ではいつもと違う企画をしましたが、南高生の盛り上げもあり、様々な人に楽しんでもいただけたと思います。

今年の南高祭は今までは全く違うことにチャレンジしました。そのおかげで史上初の四〇〇〇人を超えることができましたと思います。何事においても準備八割、本番二割というのは本当だと実感できました。

最後に今回の南高祭に関わって下さった皆さんありがとうございました。



体育祭



ウォーターボーイズ



あこや姫



文化祭 模擬店



恒例 大仮装行列



文化祭 音楽部ライブ

編集後記

元号が昭和から平成へと変わった年、私は今の息子と同じ高校二年生でした。平成三十一年度として始まった今年度も、五月に令和元年度に引き継がれ、早くも半年が過ぎようとしています。

光陰矢の如しと申します。令和の時代を力強く生き抜くためにも、一日一日を大切に歩んでいきたいものです。

多田 栄寿

編集メンバー

部長 木之内亜矢子

副部長 多田 栄寿

斉藤 博輝

深瀬 洋

井上 豊彦

辻 健人

南高職員 池野 輝

滝口富美子



高橋徹先生